

## 「4月中に国会を開いて、海軍基地根本的再検討」

—韓民淑 (ハン・ミンスク) 統合民主党代表

## 「海軍基地建設軍基地計画全面白紙化」

—李正姫 (イ・ジョンヒ) 統合進歩党共同代表

4月3日。濟州島4・3事件48周年を記念するつどいで濟州4・3平和記念館を訪れた統合民主党の韓民淑代表は、総選挙(4/11)後、急いで国会を開いて、「海軍基地建設計画を根本的に再検討する」方針を改めて強調しました。統合進歩党共同代表の李正姫氏は、「海軍基地建設計画を全面的に白紙化する」公約を再度、確認しました。両党は、「濟州海軍基地建設計画の根本的再検討」と「韓米FTAの再検討」を共通の公約にして各地で「候補野単一化」を実現しています。(両代表も、与党・セヌリ党りのパク・クネ委員長も女性)。

新たに濟州島4・3事件の300余の犠牲者の氏名が明らかにされ、老婆が冷たい雨の中、烈風に吹き飛ばされそうになりながら、石壁に刻まれた近親者の氏名を撫でていました。

就任以来、一度も訪れたことがない李明博大統領に対する強い批判の声があり、4・3平和記念館を「アカ、従北左派の養成機関」とする保守・右翼勢力の攻撃もあります。

《漢拏日報、2012/4/6》 ウ・グンミン道知事に要求

- ☆ 「観光美港」ではない、「海軍基地」であることを認めよ
- ☆ 「共有水面埋め立て許可」を即時取り消せ
- ☆ 「絶対保護地域指定解除」を即時取り消せ



記者会見(4/6) —マイクを持っているのが姜東均、カンジョン村会長

政府は、「時に軍艦が寄港することがある観光美港」の欺瞞的な説明をしてきました。「観光美港」建設は、国土海洋部の仕事ですが、「濟州海軍基地」の予算もその執行も、すべて国防部和海軍がしてきました。政府が公約してきた「15万トン級のクルーズ船2隻が同時に寄港できる」設計図の欺瞞も明らかになりました。

窮地に立った国防部和海軍が、既成事実をつくろうとし暴虐の限りを尽くしています。

虚偽が明らかになったので、工事を中断して、道知事の認可事項である「公有水面の埋め立て許可」と、「絶対保護地域指定解除」を取り消すことが求められています。

観光美港誘致と引きかえの地域発展政策に固執するウ・グンミン道知事は、動揺し、あいまいな態度をとり続けています。